

新除草・調節剤

クワロン PCP・DCMU 除草剤

(取扱メーカー)丸和物産株式会社

対象作物：桑

性状・作用特性：本剤はH-173の試験名で試験が実施されてきた除草剤であり、その主成分は、DCMU(3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素：商品名カーメックスD)1.5%とPCP(ペンタクロロフェノール・ナトリウム・一水化物)20.0%を含む混合粒剤である。

本剤の主成分であるDCMUとPCPは、いずれも単剤にて桑園用除草剤として使用されているが、両剤を混合粒剤化することにより、雑草に対する適用性・適用時期を拡大し、散布作業の簡便・能率化をねらったものである。

雑草に対しては、イネ科・広葉を問わず非選択的に作用し、効果の発現は速効的で、かつ持続期間も長い。土壤中の移行は小さく、作物の根に対する影響は殆んどない。

使用方法：桑の春芽出し前および夏刈直後の雑草発芽前～幼少期に10アール当り製品6～8kgを手まきまたは散粒機にて均一に散布する。

使用上の注意：本剤は粒剤であるので、土壤の充分湿っている時や降雨の前後をねらって散布する。また、散布に当っては、桑の葉には出来るだけ付着しないように散布し、薬剤の付着した葉は蚕に給飼しないこと。本剤の魚貝類に対する毒性はかなり高いので、使用に当ってはPCPに準ずること。

アレシン モノリニュロン水和剤

(取扱メーカー)アレシン普及会

(事務局)ヘキスト・ジャパン

対象作物：桑園

性状・作用特性：本剤は、有効成分N-(4-クロロフェニル)-N'-メチル尿素を50%含む水和剤である。

本剤は非ホルモン型の接触移行性除草剤であり、雑草の根部および莖葉部より吸収され、光合成を阻害して白化を起こし、殺草性をあらわす。殺草作用は、発生初期の雑草では、葉の先端や縁の部分より枯れてくる。殺草草種は、広葉>イネ科の選択性を有し、スギナ・アザミ・カモジグサには効果が劣る。水に対する溶解度は小さく、土壤中の残効性は極めて長く、移動程度は大きい。

毒性は、急性経口毒性 $LD_{50}=2,250\text{mg/Kg}$ (ラット)、魚毒性 $LC_{50}=25\sim35\text{ppm}$ (メダカ)である。

使用方法：桑園の夏草発生前土壌処理として、10アール当り製品500～800gを70～100ℓの水にとかして、均一に散布する。

使用上の注意：桑の樹や葉には直接かからないようにする。土壤が乾燥している場合は、処理前に水をまいておくことにより高い効果が得られる。4～5葉期になった雑草には効果がなないので、一度手取りを行ってから散布すること。